

報 告

第8回 ファイトテクノロジー研究会の報告

「植物生産へのアプローチ — 篤農技術を科学する P A R T 3 —」

(京都セミナー：1994年8月19～20日)

ファイトテック京都セミナーの総括

ファイトテクノロジー研究会 世話役
京都大学農学部 林 孝洋・清水 浩

今年4年毎に開催されているInternational Horticultural Congress (国際園芸学会の世界大会)の年に当たっており、しかもそれが京都で開催されるという幸運の恵まれた。そこで、世界中の園芸学者が集まるその会議に合せて、ファイトテックの夏期セミナーも、その直前の1994年8月19日～20日間の2日間、京都大学農学部にて開催されました。特に今年は国際園芸学会に参加するため来洛された方で、ファイトテックに興味のある人がだれでも気楽に参加できるように配慮するため、講演会以外のスケジュールは一切なし、つまり、ファイトテック交流会の伝統的な行事でもありません。2回の懇親会は、初日は1件の基礎講座と3件の話題提供がありました。関本氏の基礎講座は作物の生理施肥方法と工学的分野の研究者の方から吸収できるのはファイトテックならではの分野で注目されている先端的手法で生物屋さんにとっては農法の革新に関するもので、特にここ数年ファイトテック夏季の研究会で取上げられている篤農技術に関しては議論が沸騰し、参加者それぞれ問題意識を整理した計算力学の国際会議(WCCM III)で、収集された計算力学分野の現状についてわかりやすい説明をしていただきました。第2日目は2件の話題提供があり、まず山田氏によって新開発の全自動接木ロボットについて現場での木作業の現状から開発過程まで解説していただき、またビデオによってロボットの概要を説明していただきました。片岡氏は深耕一口タリによって耕うんした場合の作物生育への効果について数年間にわたる栽培実験で得た結果に基づいて生育・収量・雑草への効果および影響について解説していただきました。全体を通じて、質疑応答は、わきあいあいの雰囲気の中で例年にも増して熱した。今年京都で開催されたため、温泉に使ったりや郷土料理に舌鼓を打つという場はありませんでしたが、参加者のほとんどが一同に会して大学の近くの飲み屋で一杯飲みながら親交を深めました。

追加 (ファイトテック世話役・大阪府立大学農学部 西浦芳史)

このような自由な雰囲気な研究会 (第1回：野辺山、第2回：津久井、第3回：津高、第4回：京都、第5回：本郷、第6回：那須、第7回：村松、第8回：京都) をできるだけ人里離れたところを選び、リラックスした気分で行ってきましました。ファイトテックの宣伝ページを是非ごらんになって入会願います。詳細については世話役まで気軽に連絡ください。

ファイトテック世話役 (○：代表者、※：事務局)

荒木 肇	(新潟大学農学部附属農場)	○林 孝洋	(京都大学農学部)
※大角 雅晴	(石川農業短期大学)	門田充司	(岡山大学農学部)
※桶 敏	(石川農業短期大学)	連絡先：	
笹尾 彰	(東京農工大学農学部)		〒921石川県石川郡野々市町末松1-308
清水 浩	(京都大学農学部)		石川県立農業短期大学
関本 均	(京都宮大学農学部)		ファイトテック研究会事務局 桶敏先生宛
鳥居 徹	(東京大学農学部)		TEL 0762-48-3135 EXT.414
西浦芳史	(大阪府立大学農学部)		FAX 0762-48-8402